

## 第3回女性技術者交流会 (in 2014 春季大会)

### 開催報告

自動車技術会では、自動車に関連する様々な分野で活躍する女性技術者の活動支援として、参加者同士が広く交流を持ち、女性技術者をとりまく環境についての情報発信・交換・収集することを目的とした「女性技術者交流会」を2013年春季大会(5月)より開催しています。

交流会は、毎回テーマを設け、講演会とその後に参加者にグループに分かれたディスカッションを行っており、第1回(2013年春季大会会期中)、第2回(2013年秋季大会会期中)とも、参加者より大変好評をいただいております。

継続して開催することにより、さらに多くの方に参加いただき、交流及び活動の輪が広がることを願い、2014年春季大会において「第3回女性技術者交流会 (in 2014 春季大会)」を開催しました。

#### <第3回女性技術者交流会 (in 2014 春季大会) >

【日 時】2014年5月22日(木)(春季大会2日目) 13:00~16:40

【会 場】パシフィコ横浜 会議センター 419室

【企 画】女性技術者の会 推進委員会

【対 象】自動車業界に携わる女性技術者

【参加者】64名(講師、女性技術者の会推進委員会委員長&幹事 含む)

【テーマ】女性技術者が気持ちよく働き続けるために

【プログラム】

① 開会の挨拶・自動車技術会紹介

女性技術者の会推進委員会 委員長 伊東 明美 氏(東京都市大学)

昨年開催した「第2回女性技術者交流会 (in 2013 秋大会)」の日に、「女性技術者の会推進委員会」が発足しました。今回よりこの委員会を中心に企画・運営を行っています。伊東委員長より、この会の設立趣旨と、自動車技術会の活動について紹介しました。



② 講演会「女性土木技術者の働き方」

須田 久美子氏(鹿島建設(株) 中央環状品川線五反田出入口工事事務所 副所長)

土木技術の世界でどのように結婚、出産、子育てと両立しながらキャリアを積んでこられたか。“仕事を続けるコツ”についてご講演いただきました。また、須田様は設立から30年の歴史と実績がある「土木技術者女性の会」での活動も行われています。こちらの活動についてもご紹介いただきました。“継続は力なり!”心に響くお話しでした。



③ ティーブレイク

一息ついてからの・・・



#### ④ グループでのディスカッション

推進委員会の企画により、ワールド・カフェスタイルという手法でグループディスカッションを行いました。

ワールド・カフェスタイルとは、“カフェ”にいるようなリラックスした雰囲気の中、参加者が少人数に分かれたテーブルで自由に対話を行い、ときどき他のテーブルとメンバーをシャッフルしながら話し合いを発展させていく交流の手法です。

初の試みでしたが、モデレータの山和氏（推進委員会幹事/トヨタ自動車）の見事な進行で、とても活発なディスカッションを行いました。

<実は・・・>各グループには、講演会講師の須田様、推進委員会の幹事4名にも加わっていただきました。

（ご紹介せずに申し訳ありませんでした）



#### ⑤ まとめと閉会のあいさつ

今回のワールド・カフェスタイルでのディスカッションは、話し合いを発展させること（交流を深めること）を目的としており、結論を出すことを目的とはしていません。参加された方には、振り返りシートにそれぞれが感じたことや気づいたことを記入していただき、それを土産として持って帰っていただきました。沢山の方と交流を図ることができ、参加された方には満足いただけたようでした。

\*\*\*

グループディスカッションの際に、各テーブル（グループ A~J）に模造紙を用意し、そこに皆さんの思うこと、考えていることなどを自由に書き込んでもらいました。（次ページよりその写真データを掲載してあります）

「女性技術者が気持ちよく働き続けるための課題や問題点」としては、

- ・ 男性の価値観を押し付けられることがある
- ・ 残業時間で評価されてしまう
- ・ 女性だからといって過保護に扱われる、                      などが挙げられていました。

全体としては、女性のライフプランは様々ですが、女性が結婚・出産・子育てなどをしながらも、“自然に女性らしく働き続けられる”環境を望んでいることが強く感じられました。

ロールモデルが少ない、と記されている方も沢山いました。確かに、まだまだロールモデルが少ない分野なのかもしれません。ロールモデルがスーパーウーマン（仕事も家事も子育てもきちんとこなせる女性）しかいないのご意見も多々ありました。

一方で最後の全体セッションでは、数人の方に今回の話し合いを通じた気づきを話してもらいましたが、次のような意見が多く出たことが印象的でした。

「自分がどう働いていきたいのかを、上司に自分からアピールすることが必要だと感じた。伝えなくてはわかってもらえないし、何も始まらない。」

女性技術者の間でも、男性の上司に部下としてどう接してほしいのか、キャリアの積み方をどう考えるのかは、その人の価値観・働く姿勢によって様々ではありません。どうしてわかってもらえないのか？と黙って悩むだけではなく、自分から発信しなければならないのでは？そんな気づきが多く生まれたように感じました。

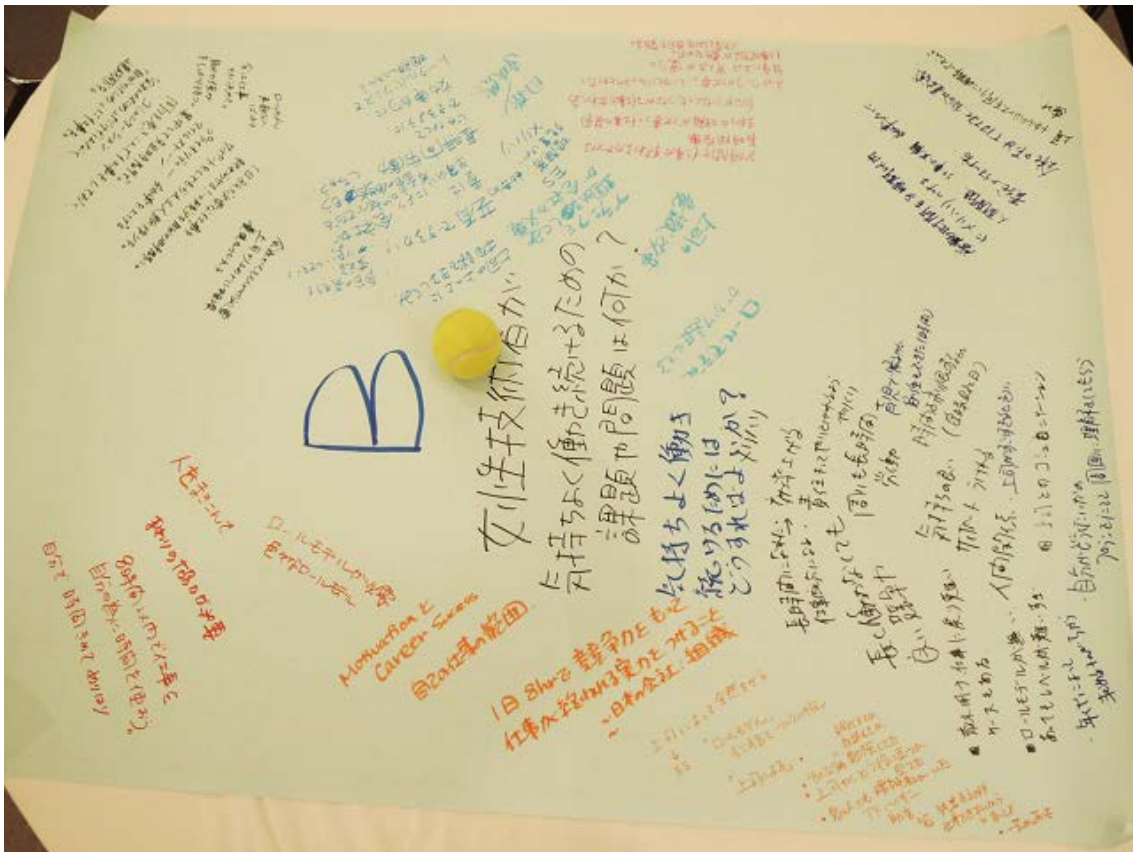
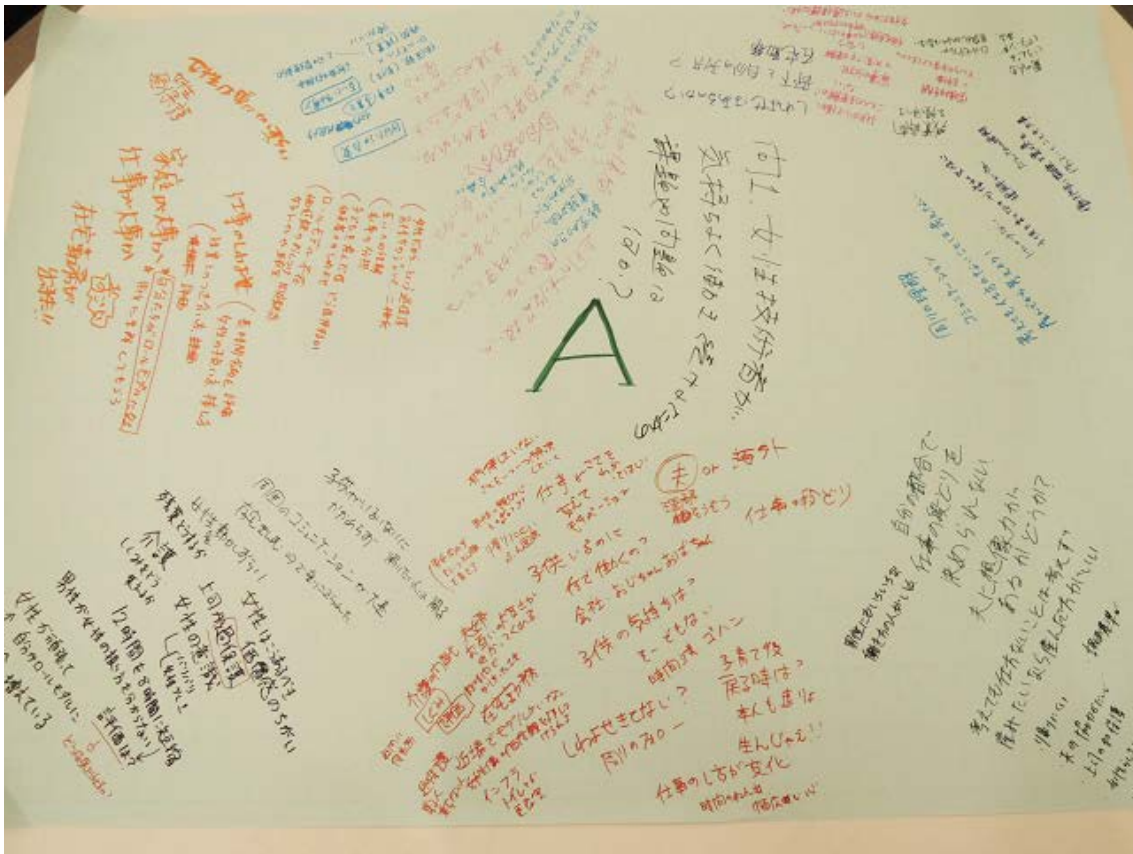
そんな気づきも同じ目線で話げできたからかもしれません。講師の須田様のドボジョの会（土木技術者女性の会）の話聞いても、なるほどと思いましたが、参加者の皆様も各職場に散ってしまうと、まだまだ少数派で孤立しがちだと思います。

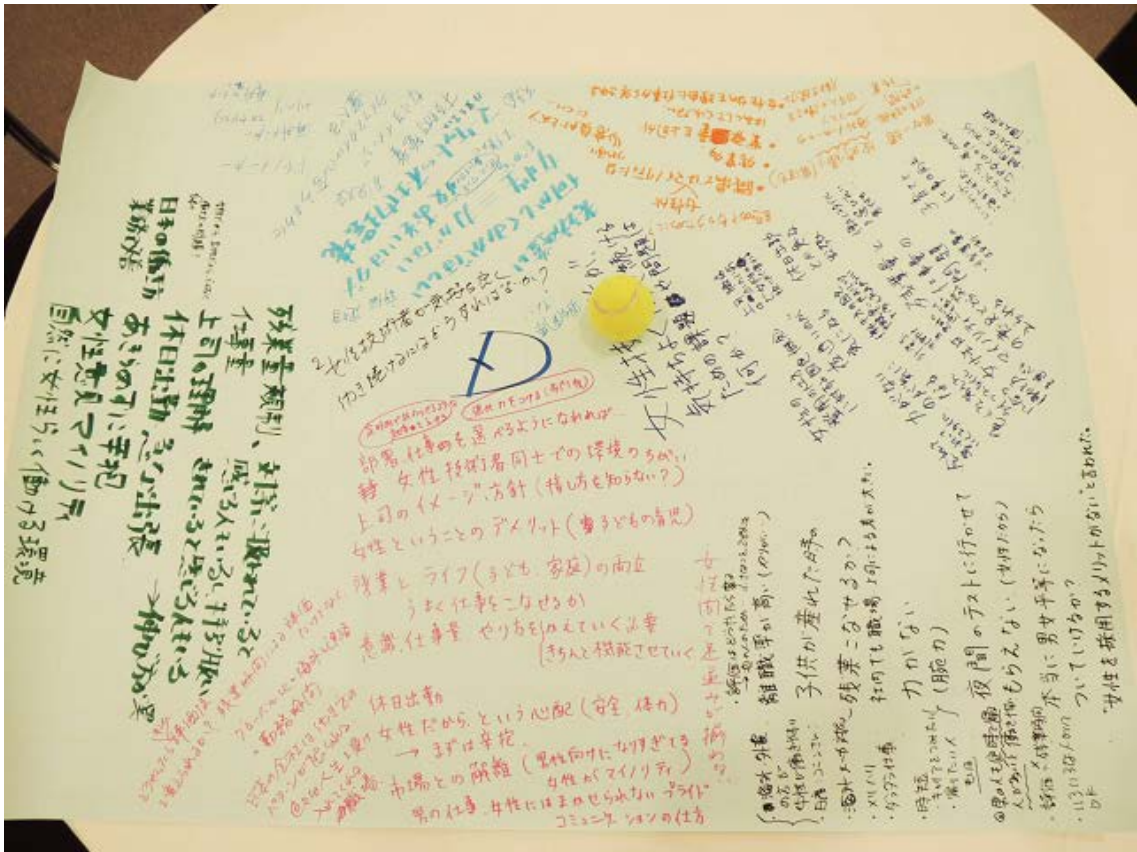
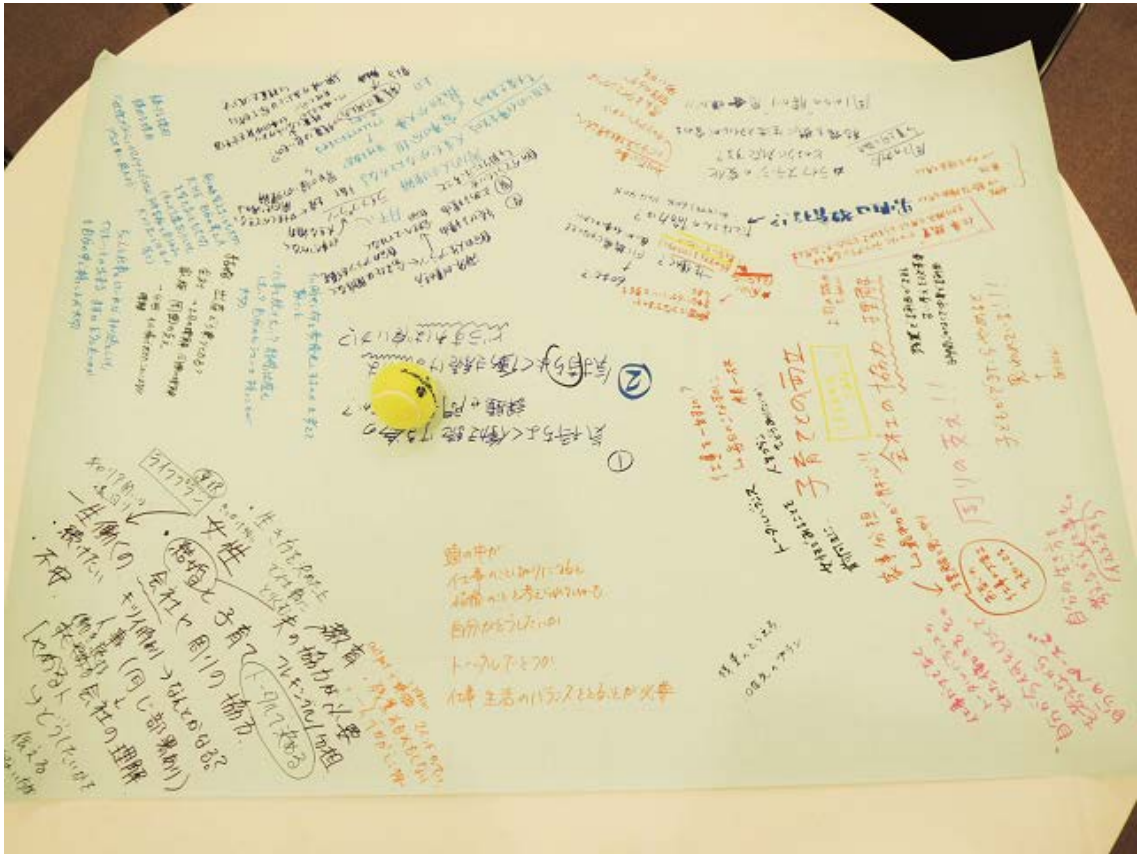
この交流会で沢山の女性技術者とネットワークを作っただけで、悩みを話せる場になること、色々な働き方をしている人がいることを知ること、その中から身近なロールモデルとなる人に出会えることそして皆様一人一人がロールモデルの一人になって頂けることを願っています。

（自動車技術会 女性技術者の会推進委員会）

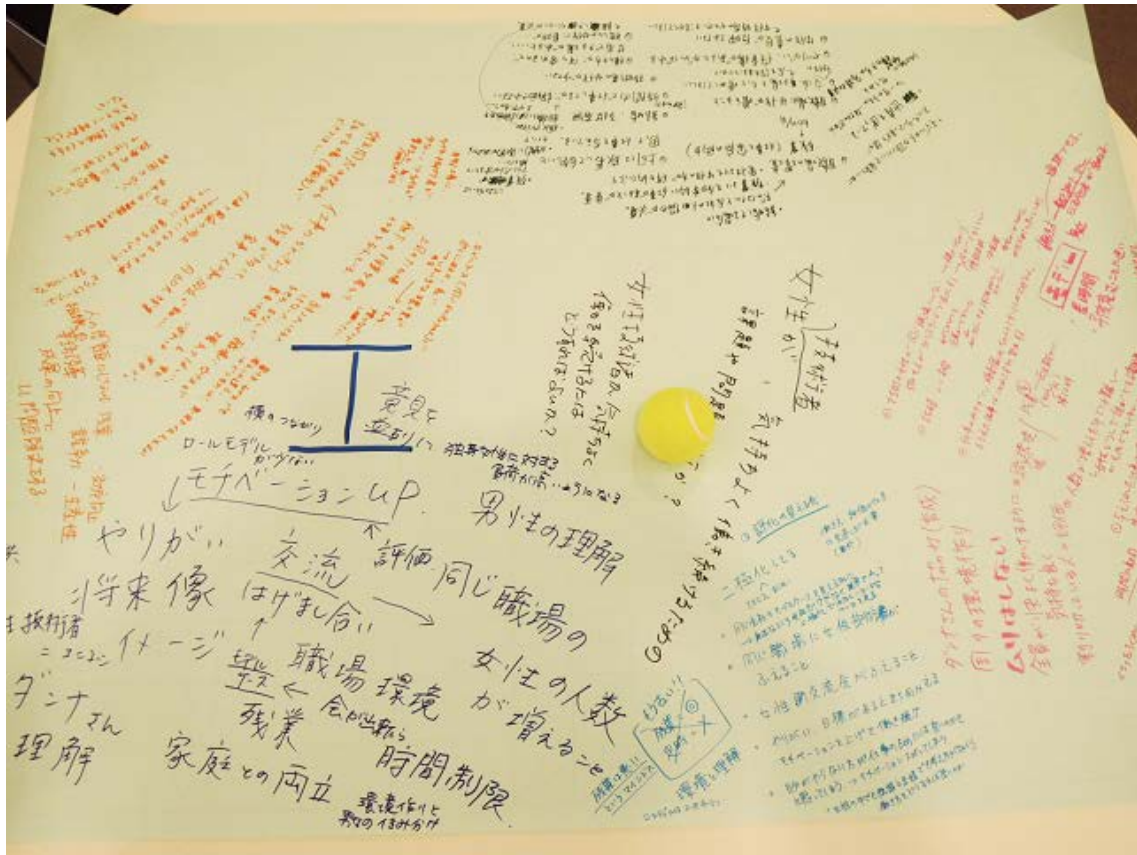
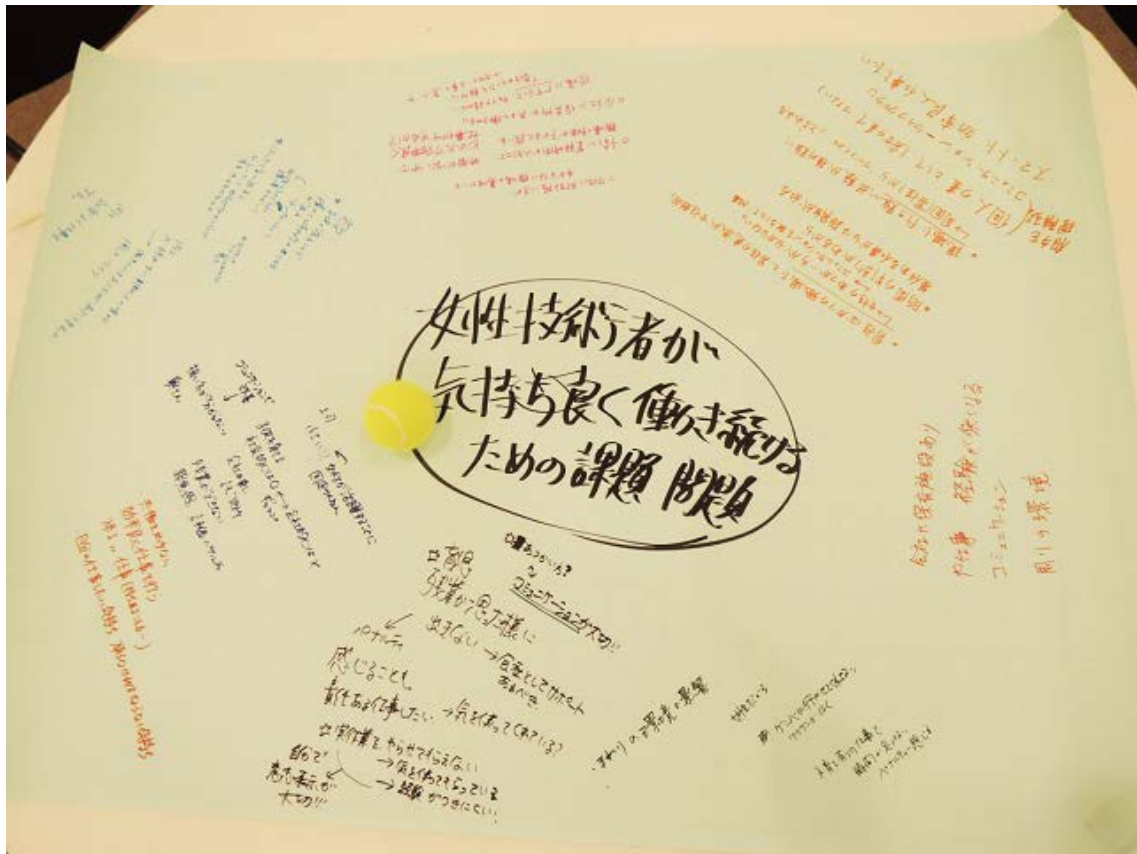


A~J/1 グループ 6~7 名









# 女性技術者が、 良持ちよく働けるシステム の問題は何か？

① 女性技術者の就業状況

- ・ 男性技術者の就業状況と比較
- ・ 女性技術者の就業状況
- ・ 女性技術者の就業状況
- ・ 女性技術者の就業状況

② 女性技術者の就業状況

- ・ 女性技術者の就業状況
- ・ 女性技術者の就業状況
- ・ 女性技術者の就業状況

仕事の内容  
女性の割合が少  
N増し

# 女性技術者が、 良持ちよく働けるシステム の問題は何か？

① 女性技術者の就業状況

- ・ 女性技術者の就業状況
- ・ 女性技術者の就業状況
- ・ 女性技術者の就業状況

② 女性技術者の就業状況

- ・ 女性技術者の就業状況
- ・ 女性技術者の就業状況
- ・ 女性技術者の就業状況

仕事の内容  
女性の割合が少  
N増し